

AtomStack ソフトウェアマニュアル

カタログ

1.ソフトウェアのダウンロード 33.....	3
2.手動でデバイス 33 を追加する	3
3.機器の交換・追加 1616.....	16
4.変更ホットスポット/WiFi 接続 1717.....	17
5.機械機能紹介 1818.....	18
6.創造と彫刻 1919	19
7.ソフトウェアアップデート 2929.....	30
8.ファームウェアアップデート 3131	32
9.カメラ 3434 を追加する	35
10.lan 4141 の検索カメラ	42
11.録画 4242.....	43
12.カメラパスワードの変更 4646.....	48
13.カメラ 4848 のリセット	50
14.スペアパーツの交換 4949	51
15.ケースユース 5252.....	54
16.ai テキストは 54 画像を生成します 54.....	56

1. SD; SD

以下の qr コードをスキャンしてアプリをダウンロードできます。

アンドロッド:



iOS:

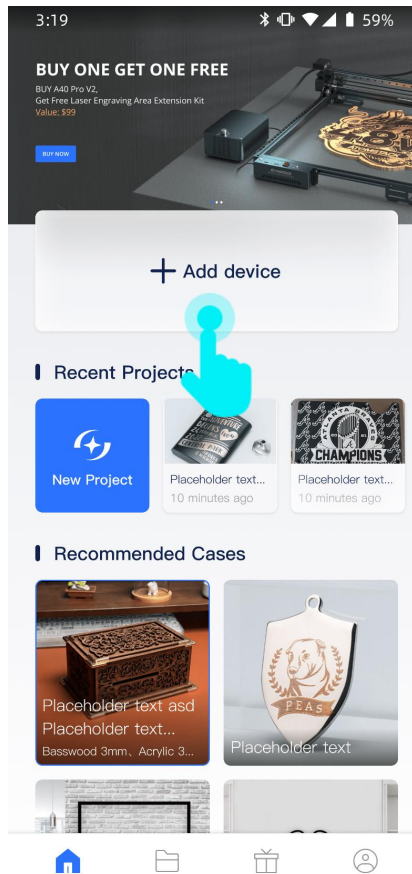


Android アプリは Google アプリストアやアプリストアからダウンロードすることもでき、iOS アプリは Apple アプリストアからダウンロードすることもできます。

2. デバイスを手動で追加する

1、WiFi 配信ネットワーク接続:

1) アプリのホーム画面に入った後、上の「デバイスを追加」ボタンをクリックしてデバイスを追加するプロセスに入ることができます。



2) デバイスが有効ネットワークモードをサポートしている場合は、デバイスのネットワークボタンを使用してデバイスをネットワーク化できます。次に、デバイスハリケーンを例に説明する。

オンにした後、「リセット/一時停止」ボタンを5秒間押します。「ピープ音」が聞こえ、箱のドアステータスライトが点滅すると、配電ネットワークモードに入ります。



3) インターフェイスの「近くのデバイス」リストのデバイスアイコンをクリックして、デバイスネットワークプロセスを入力します。



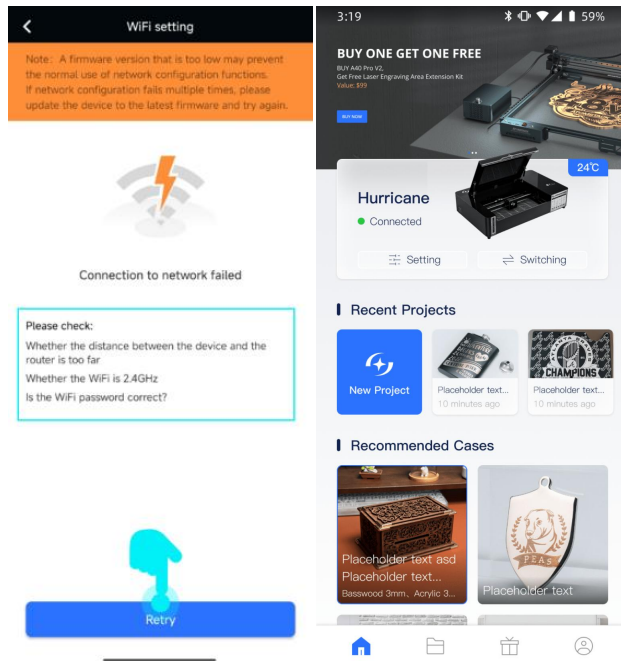
4) インターフェースに WiFi 名とパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



5) インターフェースからネットワークに接続できないことが表示された場合は、以下を確認してください。チェックが完了したら、「再試行」ボタンをクリックして Wi-Fi を再構成します。

- デバイスがルータから遠すぎるかどうか
- WiFi が 2.4GHz かどうか
- WiFi パスワードが正しいかどうか

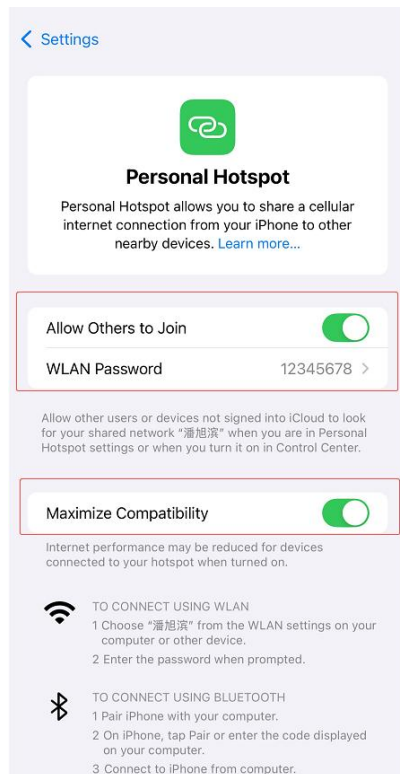
WIFI 設定が成功した場合、インターフェースはアプリのホームページに切り替えられ、ユーザーの携帯電話は遠隔操作のために WIFI を介してデバイスに接続できます。



2、モバイルホットスポット配電ネットワーク接続:

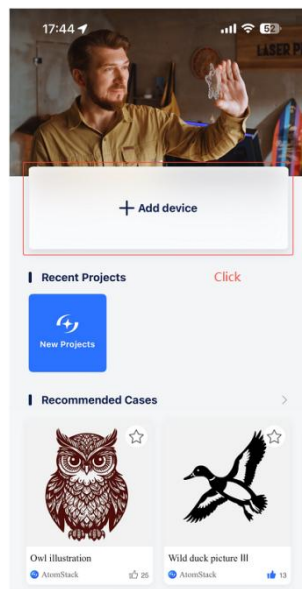
モバイルホットスポットを Wi-Fi 接続として使用する場合は、次を確認する必要があります。

- 1) ホットスポット名とパスワードが正しいかどうか
- 2) IOS システムユーザーの場合、「互換性を最大化」するためにパーソナルホットスポット設定が有効になっているかどうか
- 3) Android ユーザーの場合、ホットバンドが 2.4GHz に設定されているかどうか



アトレリアモデルの例は次のとおりです。

1、デバイスの追加をクリックします

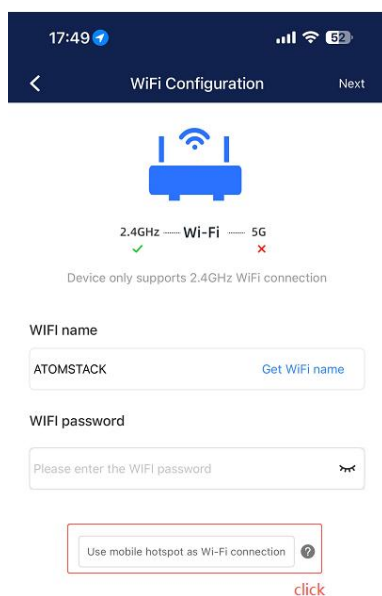


2、マシン配布ボタンを長く押して Bluetooth を有効にします。

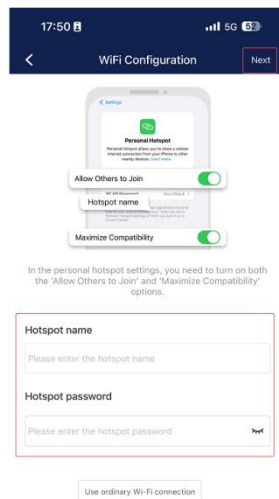
3、近くのデバイスでマシンを見つけてクリックします。



4、電話ホットスポットに接続します。



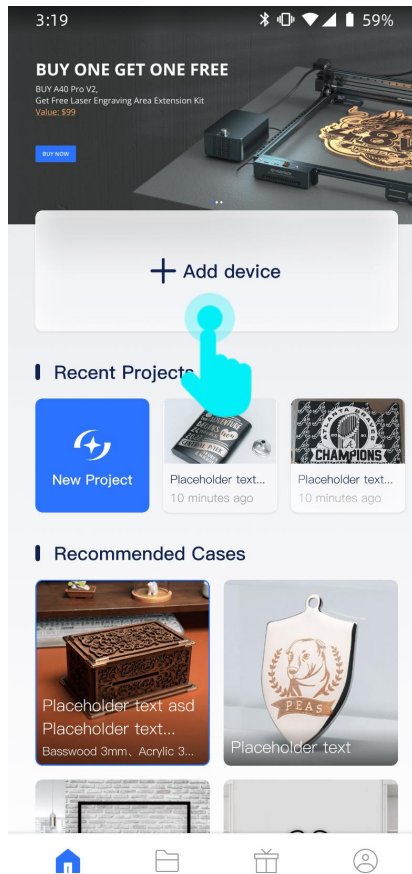
5、ホットスポット名とパスワードを入力し、次へをクリックします：



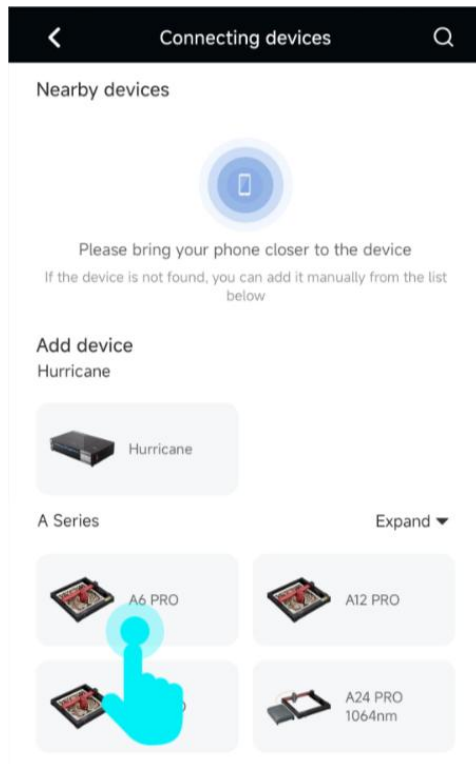
6、接続が成功すると、システムはホームページに戻り、接続が成功したことをプロンプトします。このとき、モバイルアプリを使用して機械を操作し、彫刻作業を行うことができます。

3、機械ホットスポット接続：

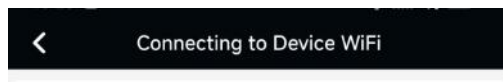
1) アプリのホーム画面に入った後、上の「デバイスを追加」ボタンをクリックしてデバイスを追加するプロセスに入ることができます。



2) インターフェースに追加するモデルを選択し、「次へ」をクリックします。



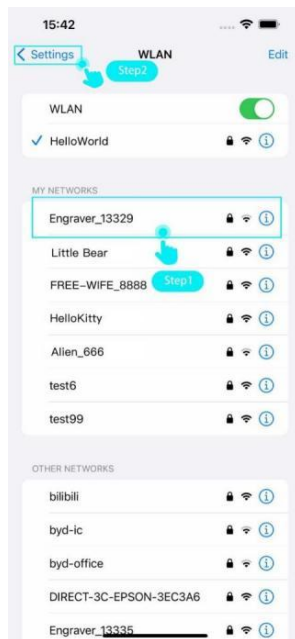
3) インターフェースからプロンプトされたデバイスホットスポット名とパスワードを記録してください。最初のパスワードは 12345678 で、「WLAN を設定」ボタンをクリックします。



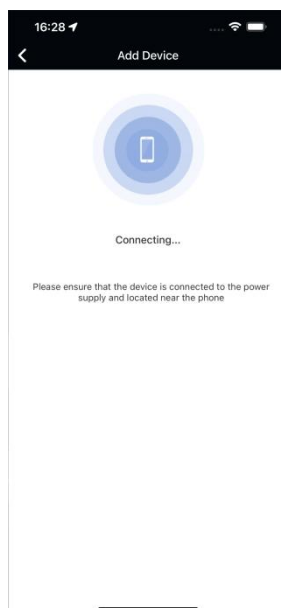
Please connect the mobile phone WIFI to "Engraver_####", password: 12345678, after the connection is successful, return to the APP manually.



4) 携帯電話システムの WLAN 選択インターフェースで、デバイスホットスポット名を選択します。デバイスホットスポットが正常に接続されたら、左上隅にある返信ボタンをクリックしてアプリに戻ります。



5) 携帯電話がデバイスと接続を確立するのを辛抱強く待ち、携帯電話をデバイスの近くに保つようにしてください。



6) 接続に失敗した場合は、次のことを確認してください。

- 機器の電源が入って起動されているかどうか
- 携帯電話 WLAN が有効になっているかどうか

- デバイスが別の電話に接続されている場合は、最初に接続を切断してください。

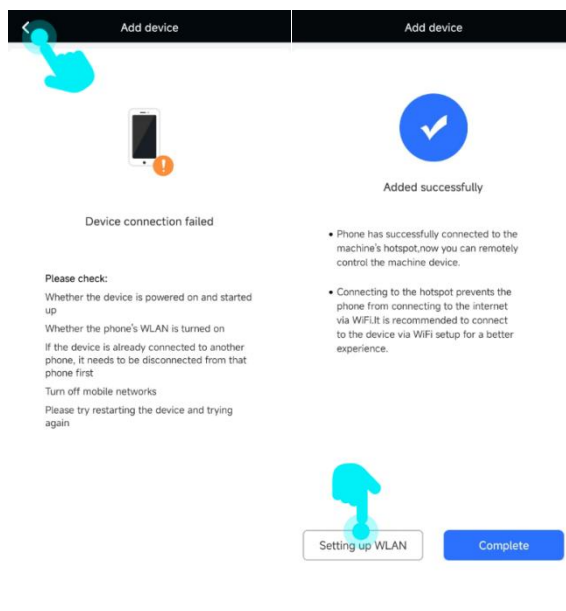
- モバイルインターネットをオフにする

- デバイスを再起動してみる

追加が成功した場合、電話がデバイスに正常に接続されたことを意味します。これで、電話からデバイスをリモートで制御できます。

現時点で Wi-Fi を介してマシンを接続する場合は、インターフェースの「Wi-Fi 設定」ボタンをクリックして、マシンの Wi-Fi ネットワークを構成できます。

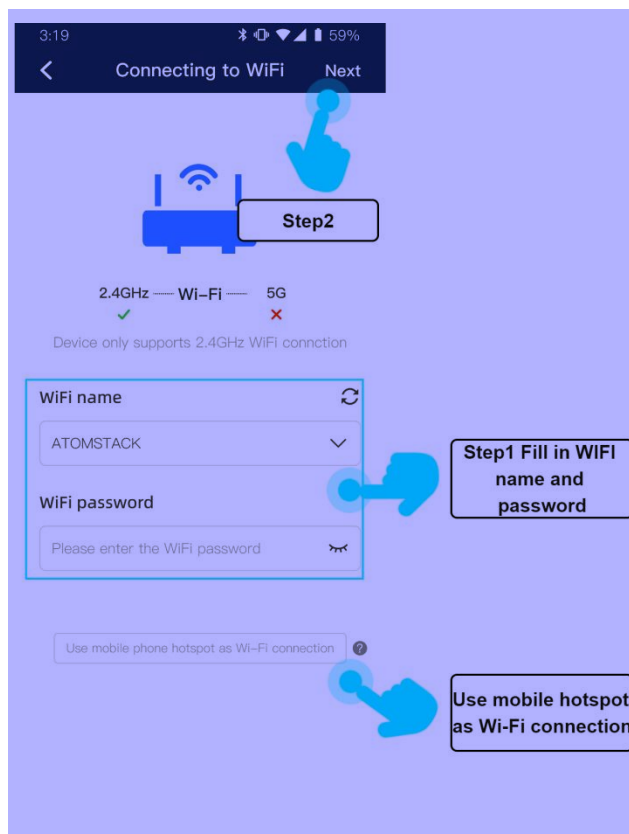
引き続き、WiFi 設定プロセスを紹介します。



7) WiFi 設定インターフェースを入力したら、WiFi 名とパスワードを正しく入力してから「次へ」ボタンをクリックする必要があります。

注：WIFI 構成は 2.4ghz の WIFI バンド接続のみをサポートしています。

WiF 環境がない場合は、下の「モバイルホットスポットを WIFI 接続として使用する」ボタンをクリックして、モバイルホットスポットを介してネットワークを接続することもできます。



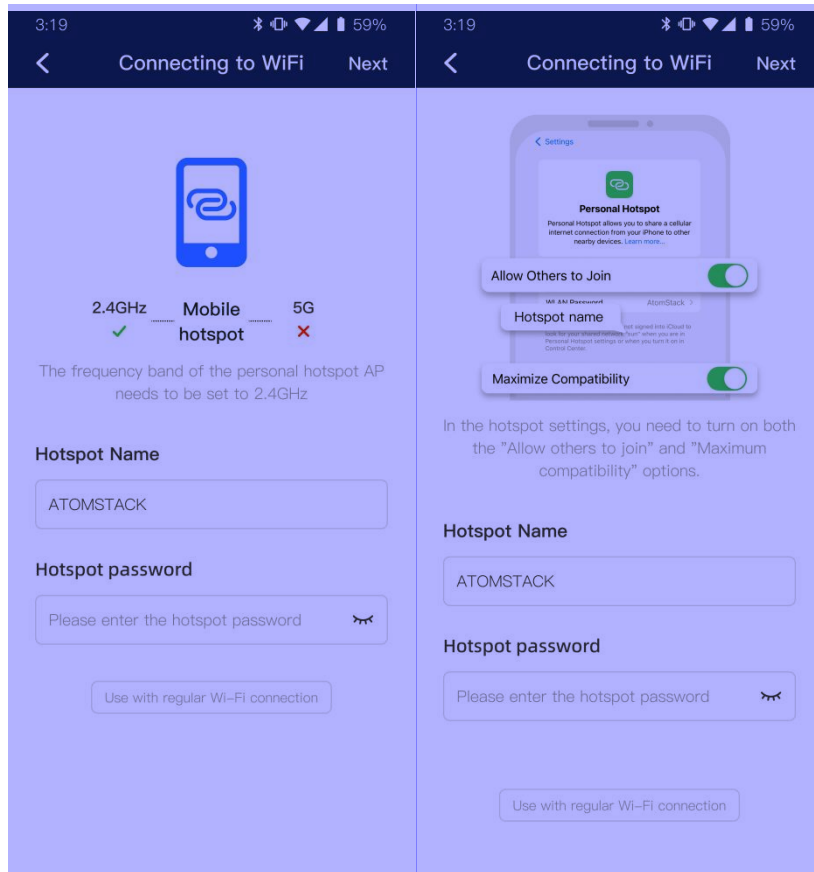
ネットワーク配信に携帯電話ホットスポットを使用するには、携帯電話ホットスポットネットワーク配信インターフェースに電話の「ホットスポット名」と「ホットスポットパスワード」を入力し、「次へ」をクリックする必要があります。

注意が必要な事項：

- IOS システムのユーザーは、互換性を最大化するために、設定で「パーソナルホットスポット」をオンにし、「他の人の参加を許可する」

をオンにする必要があります。

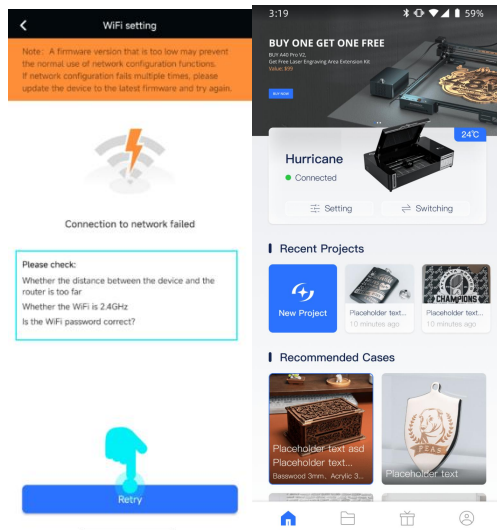
- Android ユーザーは「ホットスポット」をオンにし、AP バンドの「2.4GHz バンド」を設定する必要があります。



8) インターフェースからネットワークに接続できないことが表示された場合は、以下を確認してください。チェックが完了したら、「再試行」ボタンをクリックして Wi-Fi を再構成します。

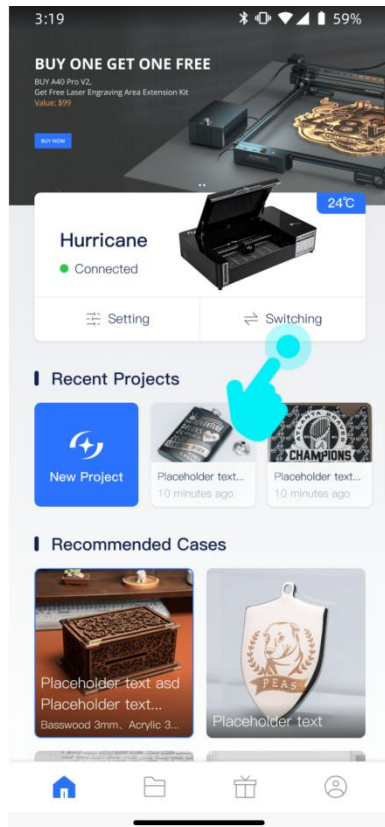
- デバイスがルータから遠すぎるかどうか
- WiFi が 2.4GHz かどうか
- WiFi パスワードが正しいかどうか

WIFI 設定が成功した場合、インターフェースはアプリのホームページに切り替えられ、ユーザーの携帯電話は遠隔操作のために WIFI を介してデバイスに接続できます。

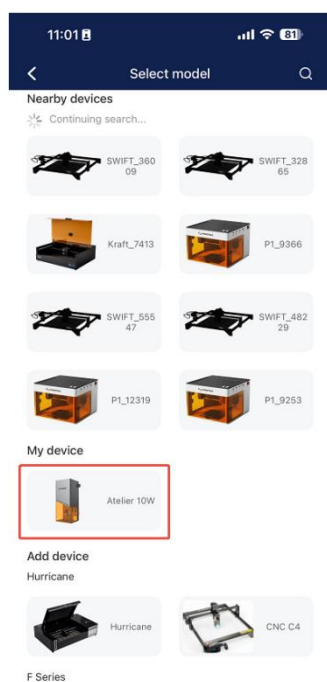


3. 機器の交換/追加

1) 接続されているデバイスを交換する必要がある場合は、メインインターフェースの右上隅にある「デバイスの切り替え」ボタンをクリックできます。

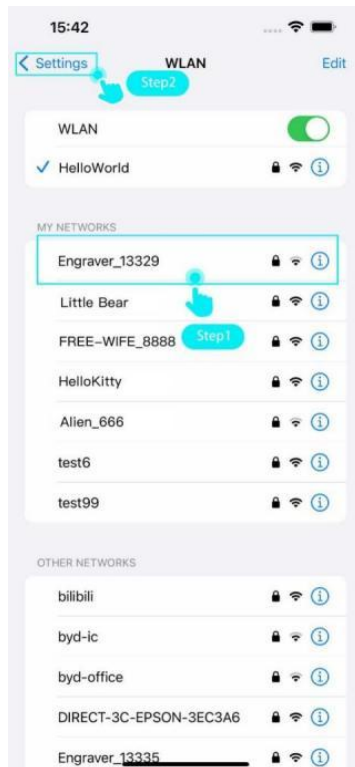


2) インターフェースの上部にある「マイデバイス」アイコンには、追加されたデバイスが表示され、これらのデバイスアイコンをクリックしてデバイス間を切り替えることができます。

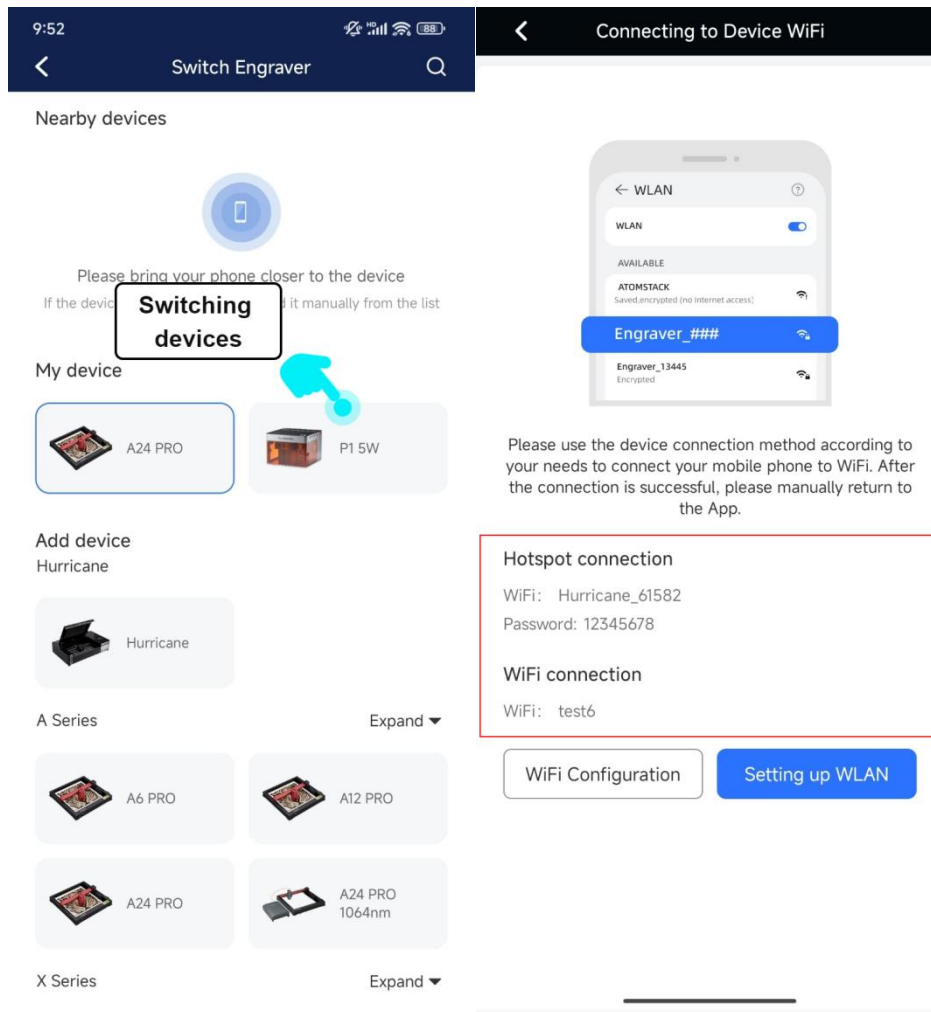


4. ホットスポット/WiFi 接続を変更する

1) デバイスの現在の接続モード(ホットスポット、WiFi)を変更する必要がある場合は、携帯電話システムの現在の WiFi 信号を直接変更してデバイスの接続モードを変更できます。



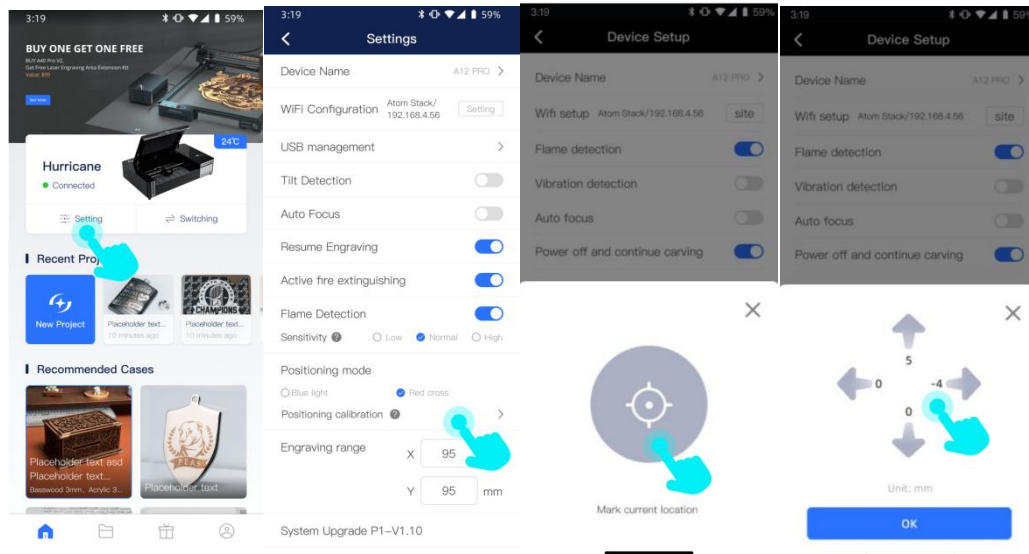
2) デバイスホットスポットまたはネットワーク WiFi の名前を忘れた場合は、デバイスインターフェースを切り替えて確認できます。



5. 機械機能紹介

デバイスを接続した後、アプリのホームページの「デバイス設定」をタップしてマシン機能を構成します。デバイスがこの機能をサポートしていない場合、オプションはメニューに表示されません。赤十字レーザーが逸脱した場合は、メニューの「位置校正」機能を使用してアライメントを調整します(黒いマーカー用紙を使用することをお勧めします)。「現在の位置をマーク」をクリックして、マテリアルに十字架を彫刻します。彫刻後にレーザーの赤十字が彫刻された十字と一致しない場合は、矢印キー(上/下/左/右)を使用して赤十字が重なるまで移動します。最後に、「完了」をクリックしてプロセスを完了し

ます。



- **火炎検出:** この機能を有効にすると、レーザーの直下に火災が発生した場合、この機能がトリガーされます。レーザーモジュールは自動的に原点に戻り、ブザーが鳴ります。再起動後(この機能がサポートされている場合)マシンは正常に使用できます。

- **感度:** 感度が高いほど、火炎検出機能をトリガーしやすくなります(この機能がサポートされている場合)。

- **積極的な火災抑制:** この機能を有効にすると、レーザーの直下に火災が発生したときにトリガーされ、デバイスが積極的に火災を抑制します(サポートされている場合)。

- **自動フォーカス:** この機能が有効になっている場合、「開始」をクリックすると、マシンはカービングを開始する前に自動的にフォーカスを開始します(この機能がサポートされている場合)。

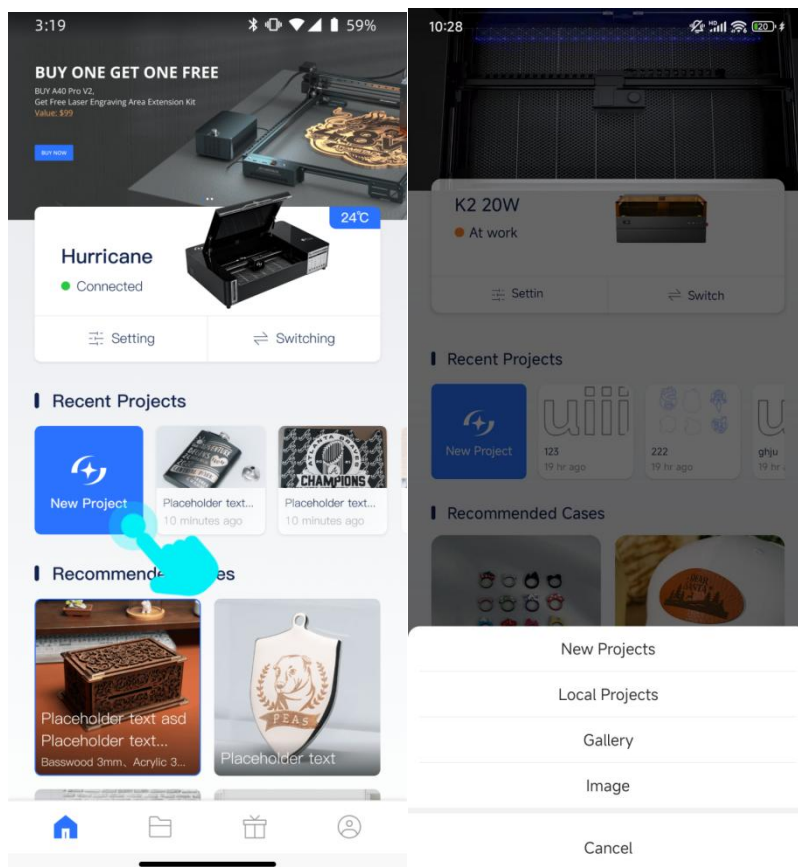
- **傾き検出:** 機械が水平面から 15°~20°の角度にあるとき、この機能

がトリガーされ、機械は自動的に動作を停止し、ブザーが鳴ります。デバイス画面の「OK」をクリックしてアラームを削除します(この機能がサポートされている場合)。

- 停電の継続: 停電により彫刻工程中に機械が停止した場合、再接続後に未完成の彫刻作業を継続できます(この機能がサポートされている場合)。

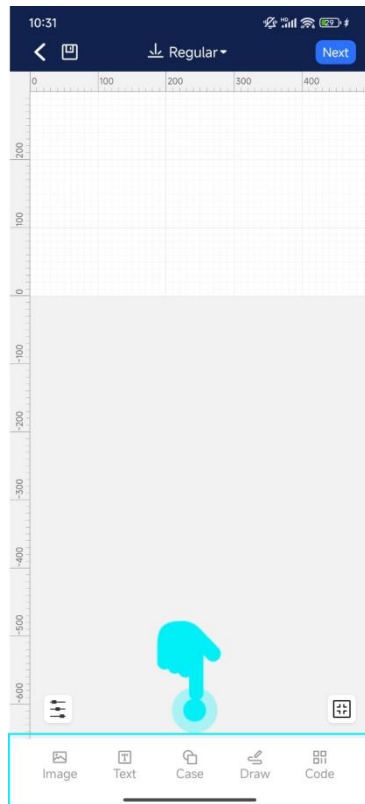
6. 創造と彫刻

1) アプリのホームページで、新しいプロジェクトをクリックして作成と彫刻を開始します。

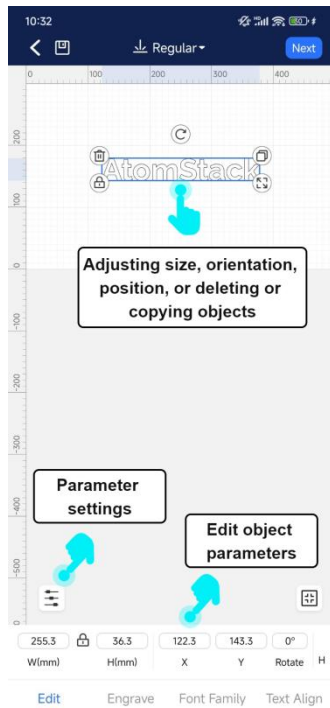


2) 作成インターフェースでは、テキスト、マテリアル、写真、手描き、

バーコードをキャンバスに追加できます。

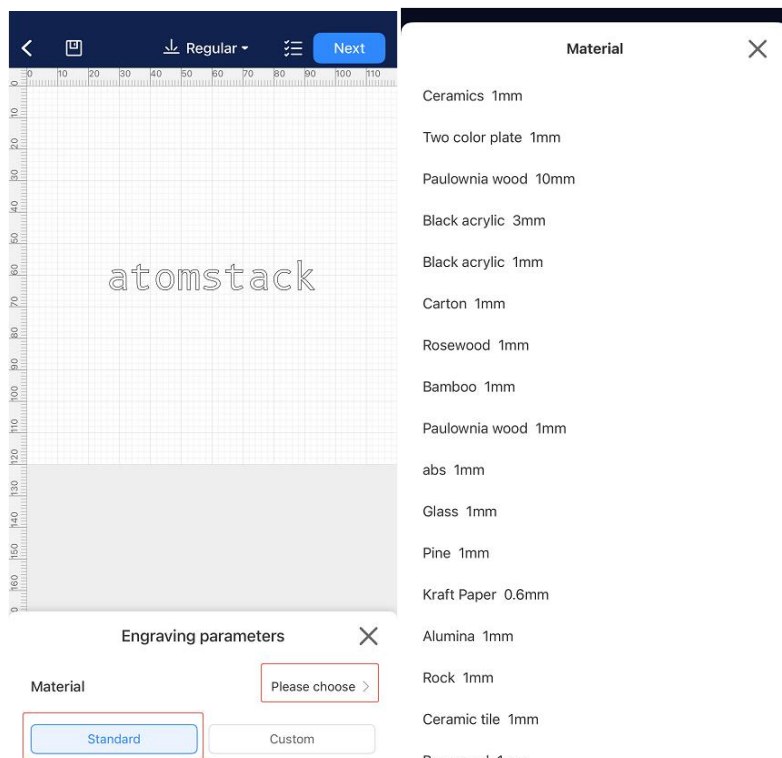


3) グラフィックを追加した後、下部の編集バーから選択したオブジェクトのパラメータを編集できます。オブジェクトをクリックすると、オブジェクトの周辺ボタンを使用して寸法、向き、位置を調整することができ、削除とコピー機能も有効になります。グラフィックデザインを完了したら、左下隅にある「パラメータ設定」ボタンをクリックしてカービングパラメータを構成します。



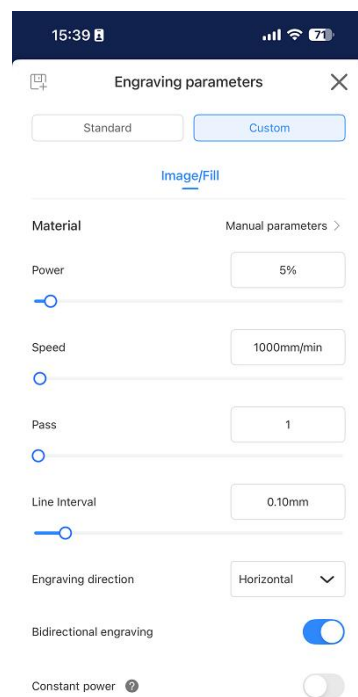
4) カービングパラメータ設定インターフェースで、異なる「標準」と「カスタム」を選択してカービングパラメータを設定できます。

- 標準モード：選択した材料に応じて、公式によって提供された最高の彫刻パラメータを使用してください。



- カスタマイズモード：キャンバスパターンの彫刻パラメータを自分で設定できます。詳細については、以下を参照してください。

a.image：マテリアルをイメージとしてインポートするとき、カスタムパラメータページ



でイメージカービングモードのパラメータを設定でき

ます。

- パワー：パターン彫刻に使用されるパワー。
- 速度：パターンが彫刻される速度。
- 処理時間：パターンを繰り返し彫刻した回数。
- ライン間隔：レーザーによって彫刻された連続したライン間の間隔。

隔。

- カーブ方向：ポジショニングマップのカーブ方向を「水平」と「垂直」に分けます。

- 双方向彫刻：位置決めマップの彫刻モードを設定します。双方向彫刻の彫刻効率は高く、一方方向彫刻の彫刻効率は低いですが、効果は優れています。

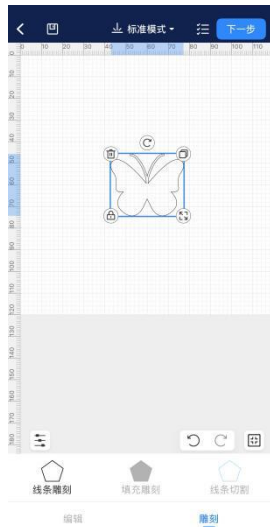
- 可変光スポット：機器がサポートしている場合、レーザーの最大パワーを設定して、彫刻光スポットの効果に影響を与えることができます。

- オーバースキャン：デバイスがそれをサポートしている場合、レーザーモジュールはビットマップを彫刻するときに追加の移動距離を追加し、彫刻領域のエッジを燃やさないようにしますが、これにより、彫刻領域のビットマップの彫刻範囲が短縮されます。

- 一定パワー：この機能を有効にすると、現在の移動速度に関係なく、レーザーパワーは一定のままになります。

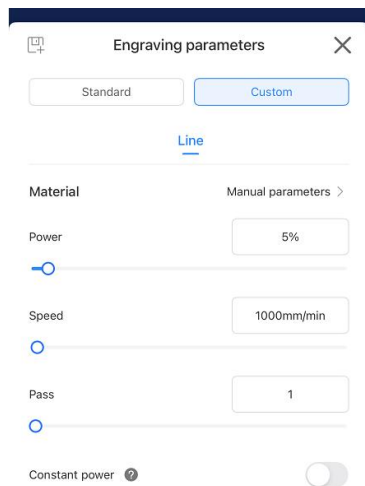
B.ベクトルパターン：ベクトルパターンをインポートするときに、パター

ンを選択し、「ラインモード」、「フィルモード」、「カットモード」を選択します。



a. ラインモード：ラインモードでは、クリックしてマテリアルスキームを選択するか、次のパラメータを設定できます。

- パワー：パターン彫刻に使用されるパワー。
- 速度：パターンが彫刻される速度。
- 可変光スポット：機器がサポートしている場合、レーザーの最大パワーを設定して、彫刻光スポットの効果に影響を与えることができます。
- 処理時間：パターンを繰り返し彫刻した回数。
- 一定パワー：この機能を有効にすると、現在の移動速度に関係なく、レーザーパワーは一定のままになります。



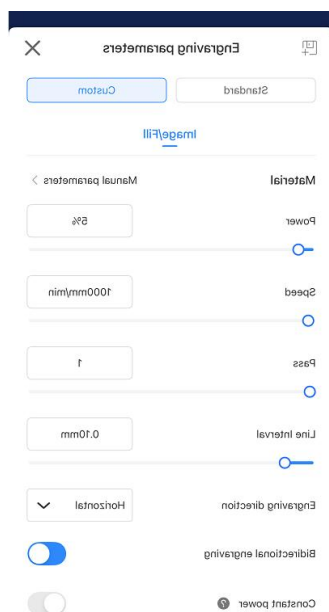
b. 塗りつぶしモード：塗りつぶしモードでは、クリックして材料スキームを選択するか、次のパラメータを設定できます。

- パワー：パターン彫刻に使用されるパワー。
- 速度：パターンが彫刻される速度。
- 処理時間：パターンを繰り返し彫刻した回数。
- 可変光スポット：機器がサポートしている場合、レーザーの最大パワーを設定して、彫刻光スポットの効果に影響を与えることができます。
- ライン間隔：レーザーによって彫刻された連続したライン間の間隔。
- カーブ方向：ポジショニングマップのカーブ方向を「水平」と「垂直」に分けます。
- 双方向彫刻：位置決めマップの彫刻モードを設定します。双方向彫刻の彫刻効率が高く、一方方向彫刻の彫刻効率は低いですが、効果は優れて

います。

- オーバースキャン：デバイスがそれをサポートしている場合、レーザーモジュールはビットマップを彫刻するときに追加の移動距離を追加して、彫刻領域のエッジを燃やさないようにしますが、これにより、彫刻領域におけるビットマップの彫刻範囲が短縮されます。

- 一定パワー：この機能を有効にすると、現在の移動速度に関係なく、レーザーパワーは一定のままになります。

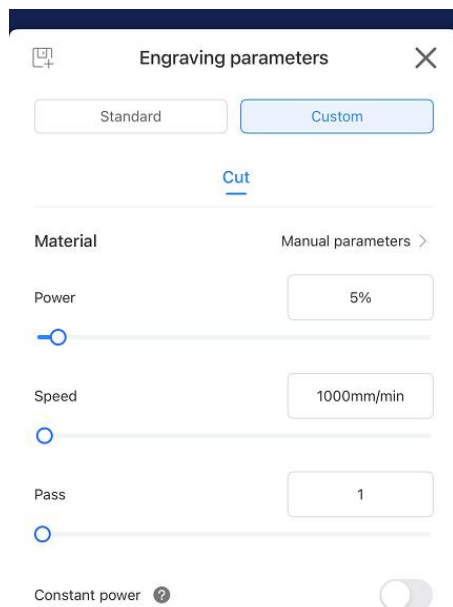


c. 切断モード：ラインモードでは、クリックして材料スキームを選択するか、次のパラメータを設定することができます。

- パワー：パターン彫刻に使用されるパワー。
- 速度：パターンが彫刻される速度。
- 処理時間：パターンを繰り返し彫刻した回数。
- 可変光スポット：機器がサポートしている場合、レーザーの最大

パワーを設定して、彫刻光スポットの効果に影響を与えることができます。

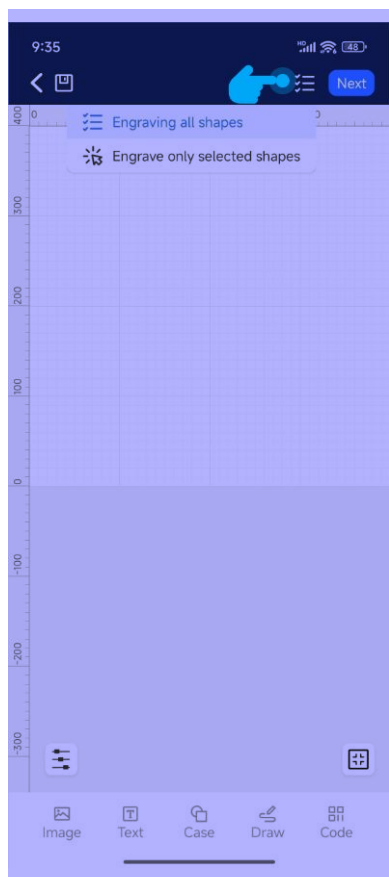
- 一定パワー：この機能を有効にすると、現在の移動速度に関係なく、レーザーパワーは一定のままになります。
- 切断開始 Z 軸沈下距離：機器がサポートしている場合、切断開始前のレーザー Z 軸沈下距離。
- カットの Z 軸深さ：機器がサポートしている場合、各カット後のレーザーの Z 軸の深さ。



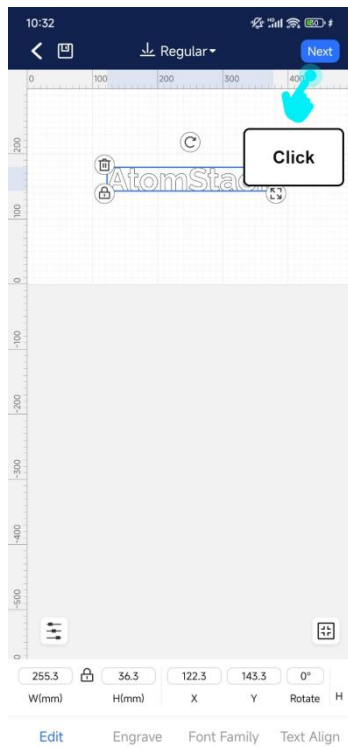
設定後、右上隅にある X ボタンをクリックしてパラメータを適用し、キャンバスに戻ります。左上隅にある保存ボタンをクリックして、現在の彫刻パラメータの設定をローカルに保存することもできます。このスキームは、次の彫刻時にカスタムマテリアルリストで見つけることができます。

5) 出力モードの選択: 上部の「下に表示」ボタンをクリックして、彫刻出力モードを選択できます。

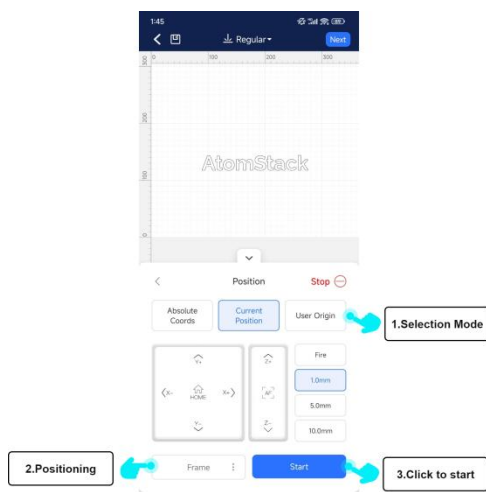
- すべてのグラフィックを彫刻します: キャンバスにすべてのグラフィックを彫刻します。
- 選択したグラフィックのみを彫刻します。キャンバスで選択したグラフィックのみを彫刻します。



6) 彫刻パラメータの設定が完了したら、「次へ」ボタンをクリックして位置決めインターフェースに入ることができます。



7) 位置決めインターフェースでは、彫刻パターンをパトロールし、彫刻領域内の位置を決定し、レーザーリセット、自動フォーカス、その他の操作を完了できます。位置決め後、「開始」ボタンをクリックしてパターンのレーザー彫刻を開始できます。



● 開始位置

絶対座標: キャンバス内のオブジェクトの座標位置に応じて、機械作業領

域内の対応する座標位置で彫刻が行われます。

現在位置: レーザーの現在座標位置が彫刻作業の開始点として使用されます。

ユーザ原点: ユーザは、原点座標位置を彫刻の開始位置として設定する、

- パトロール: レーザーは材料上のパターンの長方形の境界に沿って移動し、彫刻された領域をプレビューできます。

- 停止: レーザーの動きを強制的に終了します。

- 原点を設定する: レーザーの現在の位置座標を使用して、彫刻オブジェクトの開始彫刻位置を設定します。

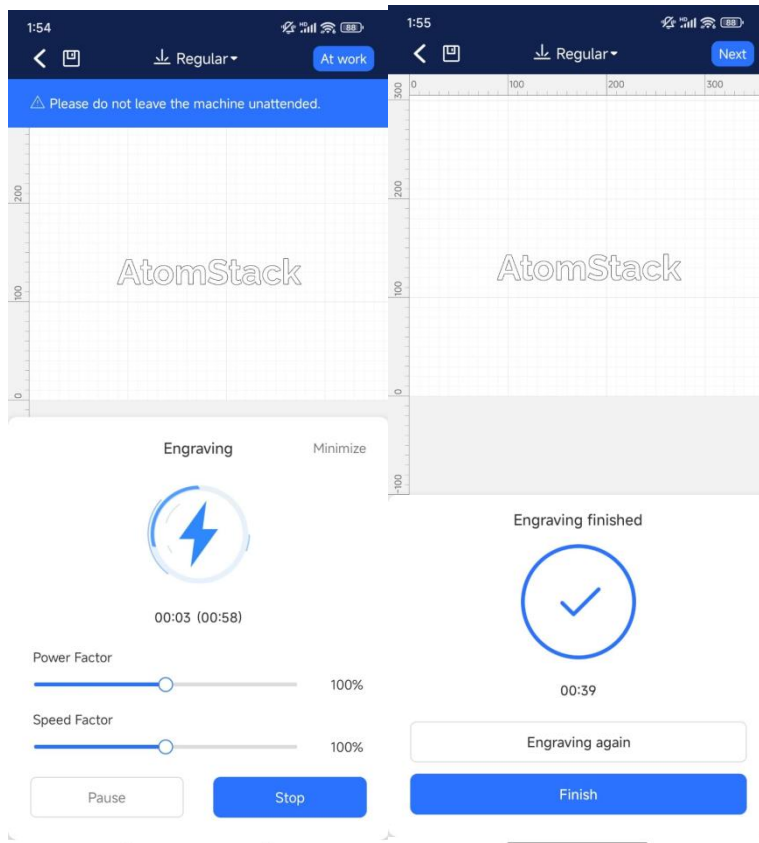
- 原点に移動: レーザーをユーザーが設定した原点位置に移動します。

- 距離: レーザーが XYZ 軸に沿って移動する距離。

- 点火: レーザーはさまざまなパワーでテストできます。

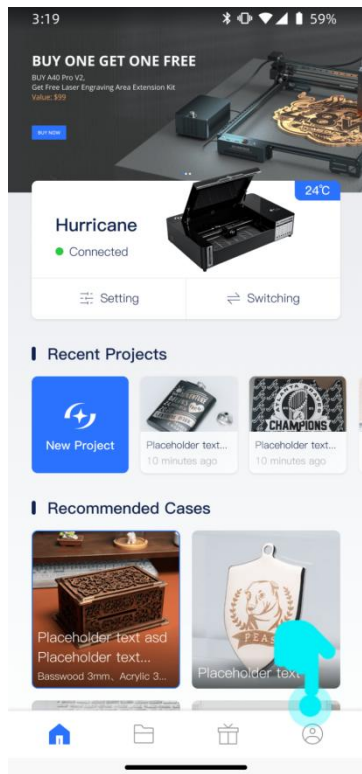
- オートフォーカス: レーザーモジュールは、彫刻材料の最適な焦点距離に従って Z 軸オートフォーカスを実行します(この機能がサポートされている場合)。

8) 彫刻インターフェイスに入った後、現在の彫刻パワーと速度をリアルタイムで調整するか、現在の彫刻プロジェクトを一時停止または停止することができます。プロジェクトが彫刻されると、インターフェイスに「彫刻が完了しました」というプロンプトメッセージが表示されます。

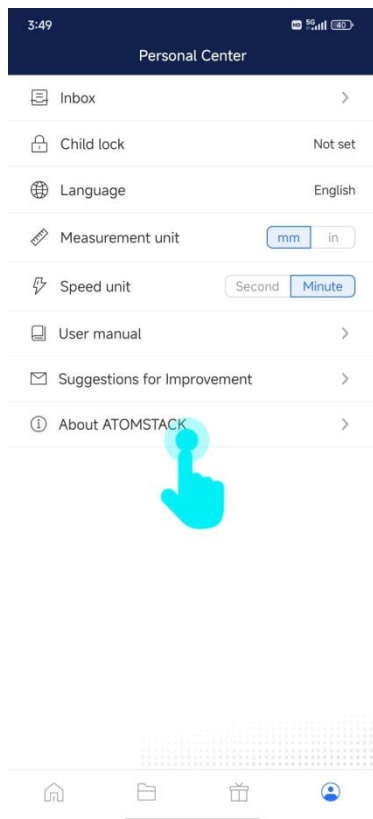


7. ソフトウェアアップデート

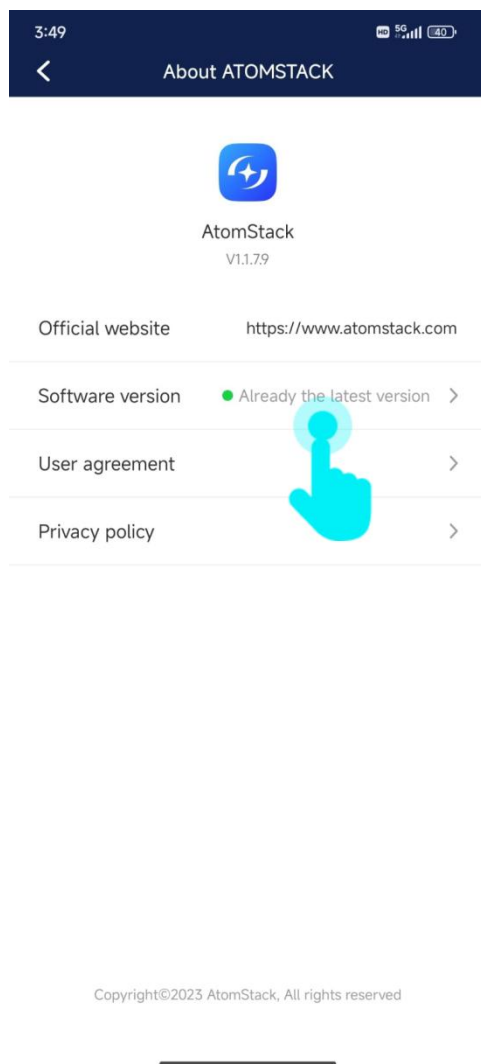
1) アプリのホームページの右下隅にある「パーソナルセンター」ボタンをクリックします。



2) インターフェイスの ATOMSTACK についてボタンをクリックします。

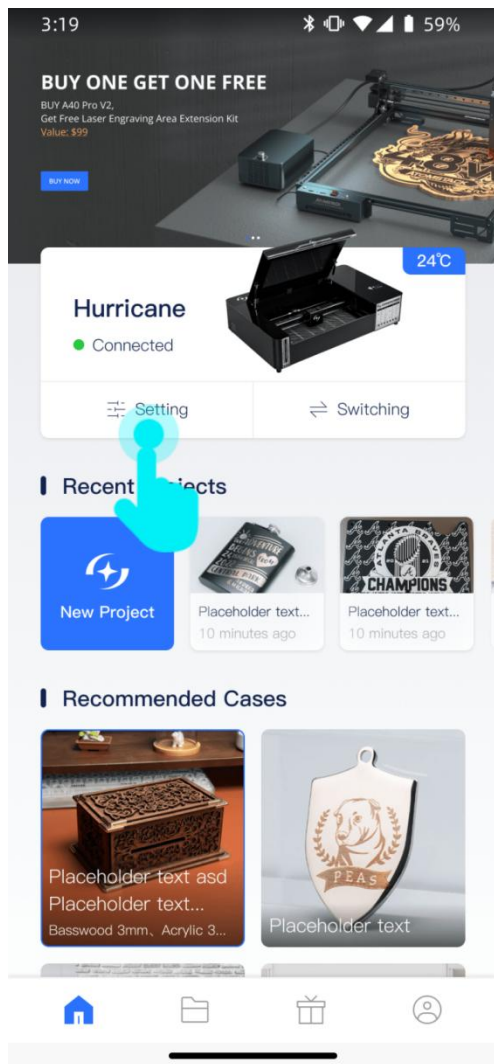


3) 「ソフトウェアバージョン」ボタンをクリックして、現在のソフトウェアバージョンが最新であるかどうかを確認します。新しいバージョンがある場合は、ソフトウェアのバージョンを更新するように求められます。



8. ファームウェアアップデート

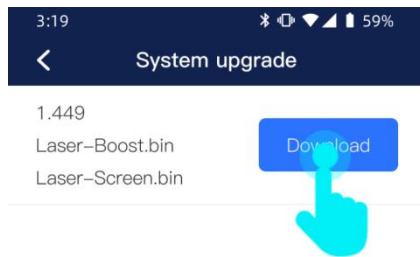
1) デバイスを追加したら、アプリのホームページの「デバイス設定」ボタンをクリックします。



2) デバイス設定インターフェースの「ファームウェア更新」ボタンをクリックします。

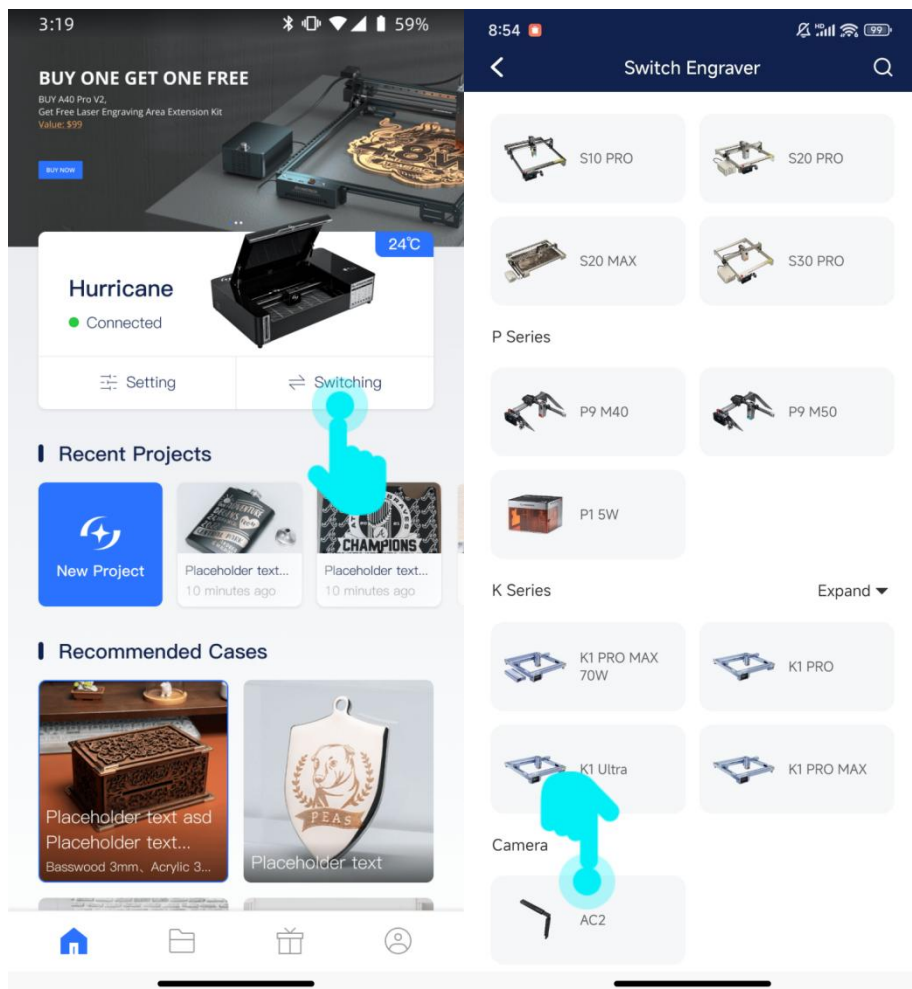


デバイスに更新可能なファームウェアがあることをシステムが検出した場合、ファームウェアのバージョン情報がリストに表示されます。このとき、「ダウンロード」ボタンをクリックしてファームウェアアップデートプロセスに入ります。



9. カメラを追加する

1) アプリのホームページにアクセスしたら、「デバイスの切り替え」ボタンをクリックし、デバイスの切り替えインターフェースで対応するモデルカメラボタンをクリックできます。



2) カメラ接続ページで、「QRコード設定」ボタンをクリックします。

OR SCAN Configuration

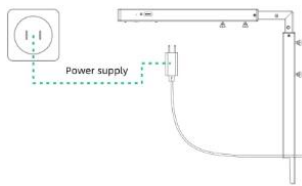
Search for Wi-Fi



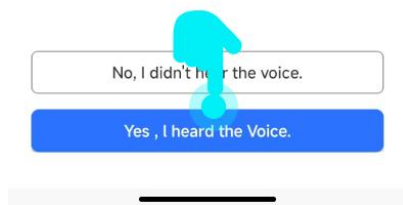
3) カメラの電源コードを電源スロットに接続し、1分待ちます。「カメラは Wi-Fi 接続の準備ができています」という音が聞こえます。音を聞いたら、「はい、その音を聞きました」をクリックします。

Prepare for QR scan connection

1. Please insert the camera power cord into the power slot as shown below.



2. Wait for one minute, you will hear the voice of "Camera is ready for wifi connection".

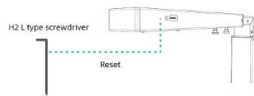


「カメラは Wi-Fi 接続の準備ができています」というプロンプトが聞こえない場合は、インターフェースの指示に従ってカメラをリセットする必要があります。「カメラを正常にリセットしました」という音声プロンプトを聞いたら、「はい、その音を聞きました」ボタンをクリックして、カメラ追加手順を繰り返します。

< Generate QR code

Reset the Camera

1. Press and hold the reset button for 5 seconds, then you will hear the sound of "Successfully reset the camera".



No, I didn't hear the voice.

Yes, I heard the Voice.

4) [WIFI 設定]ページで、カメラを構成する必要がある WIFI の名前とパスワードを入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

< WIFI setting

Please configure the WiFi name and password for the camera connection.

WiFi name

test6

Get WiFi name

WiFi password

Please enter the WiFi password

Next

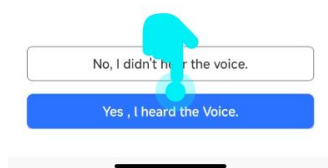
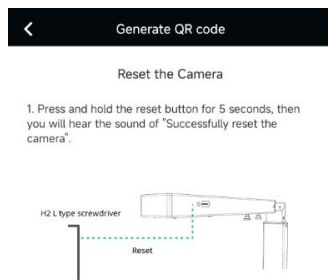
Next

5) 携帯電話で生成された QR コードをカメラに向け、10~20cm の距離を保ちます。そうすれば「ビープ音」が聞こえます。音を聞いたら、「はい、そ

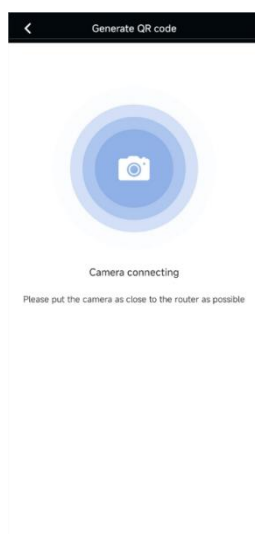
の音を聞きました」をクリックします。



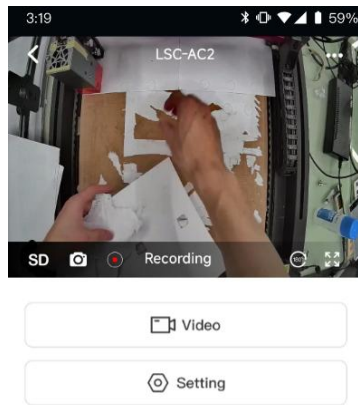
「ビープ音」が聞こえない場合は、インターフェースの指示に従ってカメラをリセットする必要があります。「カメラを正常にリセットした」という音を聞いたら、「はい、その音を聞いた」ボタンをクリックし、カメラ追加手順を繰り返します。



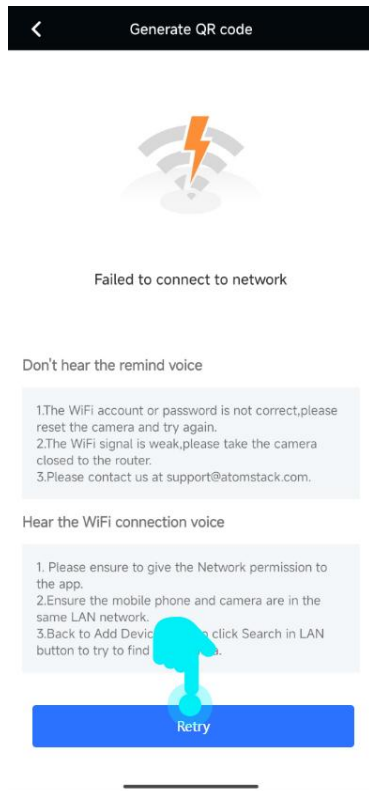
6) カメラをできるだけルータに近づけ、Wifi 構成結果を待ちます。



7) 前記 Wifi 設定が成功し、前記インタフェースが前記カメラ管理インタフェースに切り替わる、これで、カメラが提供するすべての機能を使用できます。

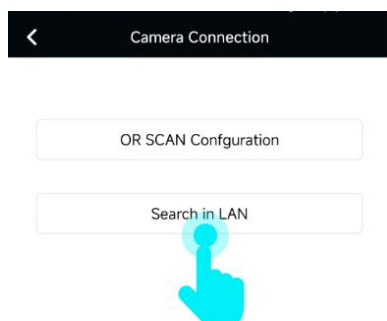


Wi-Fi 構成に失敗した場合は、インターフェースに記載されている理由に従ってトラブルシューティングします。トラブルシューティング後、下の「再試行」ボタンをクリックして、Wi-Fi を再構成します。



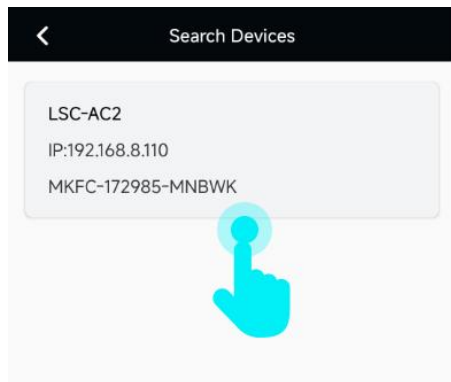
10. ランでカメラを検索する

1) Wifi 構成でカメラを追加すると、他の携帯電話は「ローカルエリアネットワークでカメラを検索する」ことでカメラを追加することができる。カメラ接続インターフェースで、「ローカルエリアネットワークで検索」をクリックします。

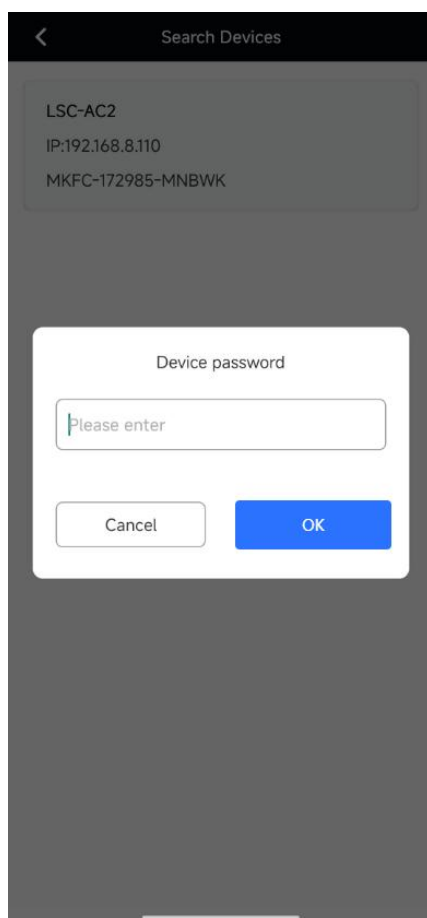


2) 「デバイスを見つける」画面に入った後、リスト内の「カメラ」情報

カードをクリックします。

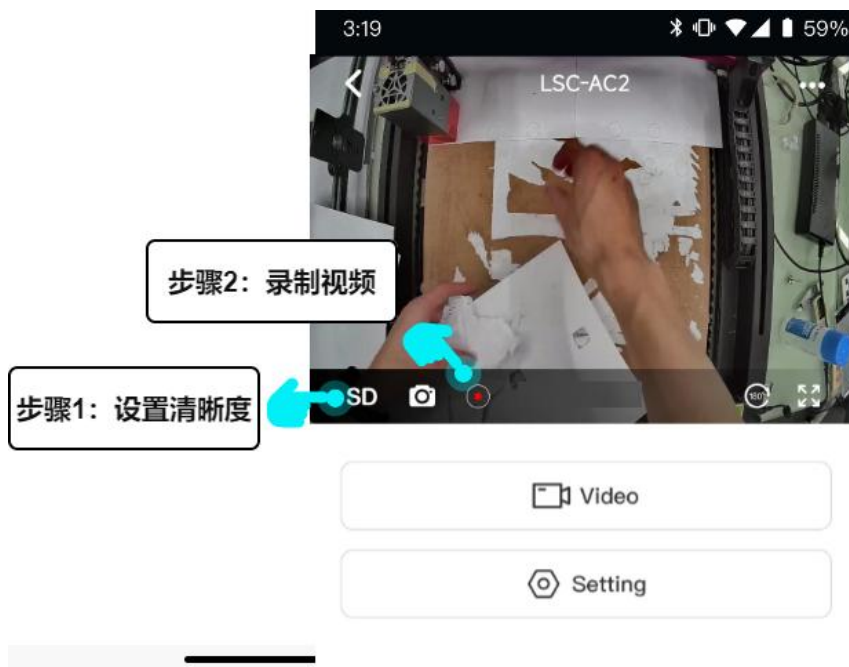


3) カメラのパスワード入力ボックスがインターフェースにポップアップします。正しいカメラパスワード(デフォルトのカメラパスワードは admin)を入力した後、カメラを接続できます。

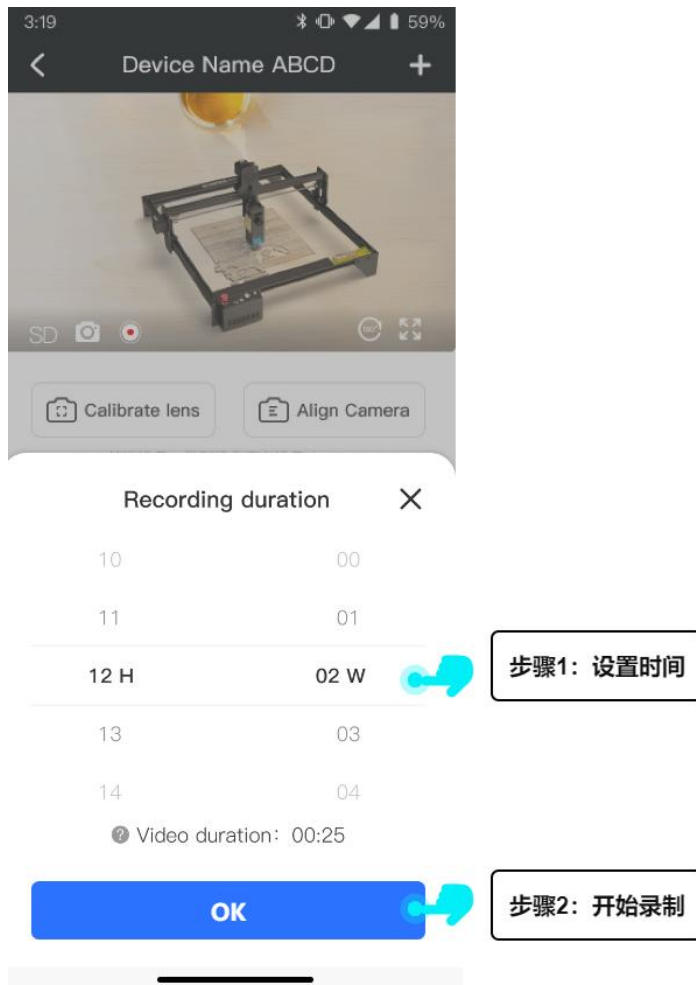


11. ビデオ録画

1) カメラのホームページで、SD/HD ボタンをクリックしてカメラのビデオの鮮明度を切り替えることができます。SD は標準解像度ビデオ、HD は高解像度ビデオを表します。インターフェースのビデオ録画ボタンをクリックしてビデオを録画します。

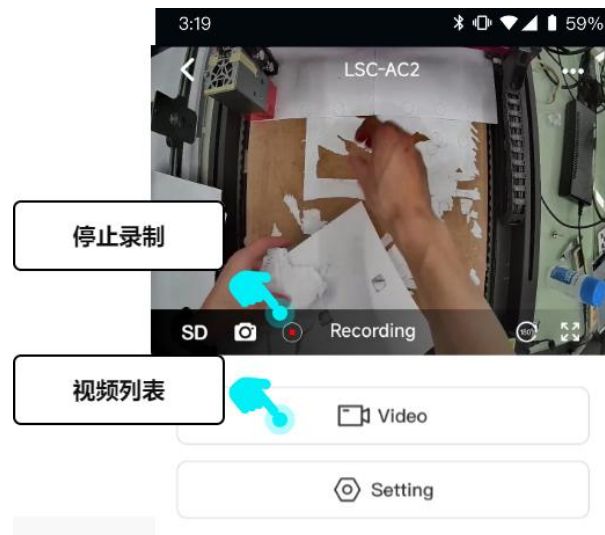


2) まず、ビデオ録画の持続時間を設定してから、「OK」ボタンをクリックして設定を完了できます。



3) ビデオ録画中に、録画ボタンをもう一度クリックして、現在のビデオの録画を停止できます。

最近録画されたビデオを表示する必要がある場合は、メインインターフェースの「ビデオ」ボタンをクリックしてビデオリストインターフェースに入ります。

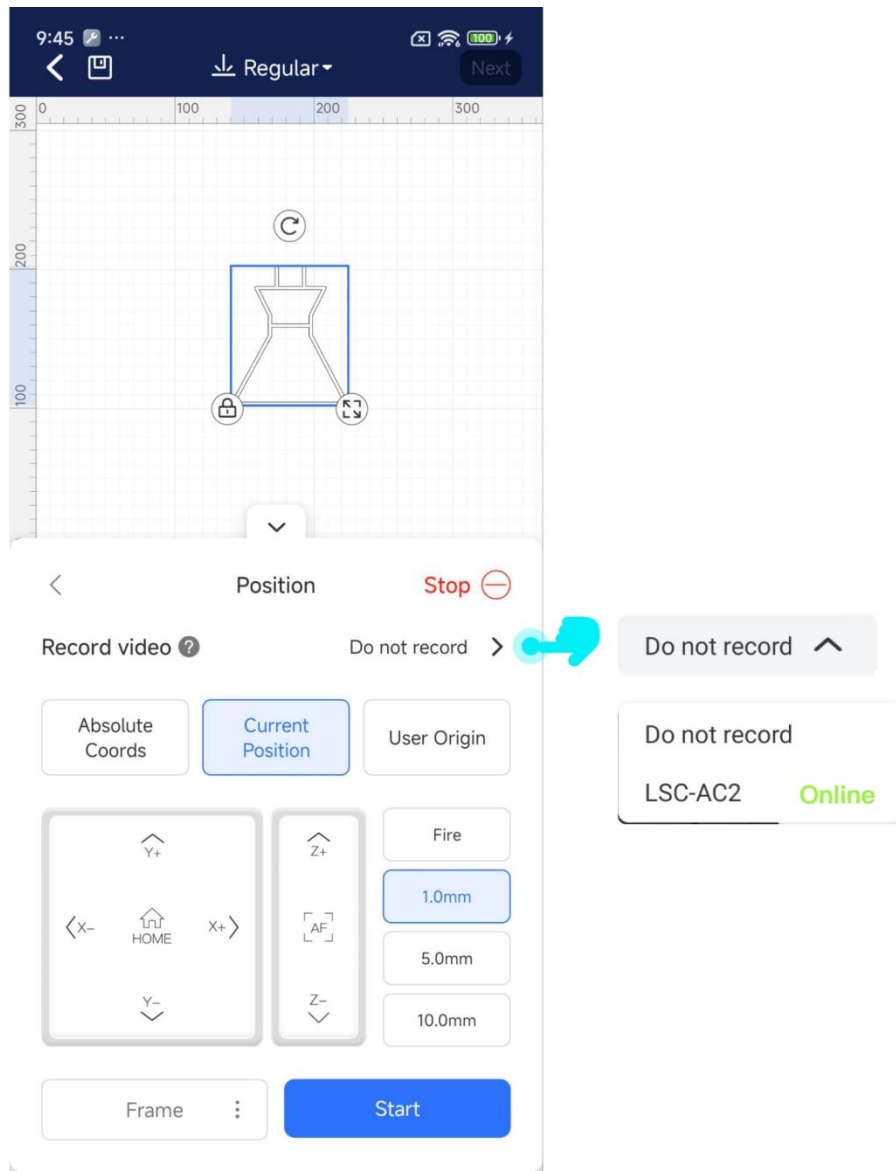


4) ビデオリストインターフェースでは、録画/録画されたすべてのビデオを表示し、ビデオをダウンロードおよび削除できます。

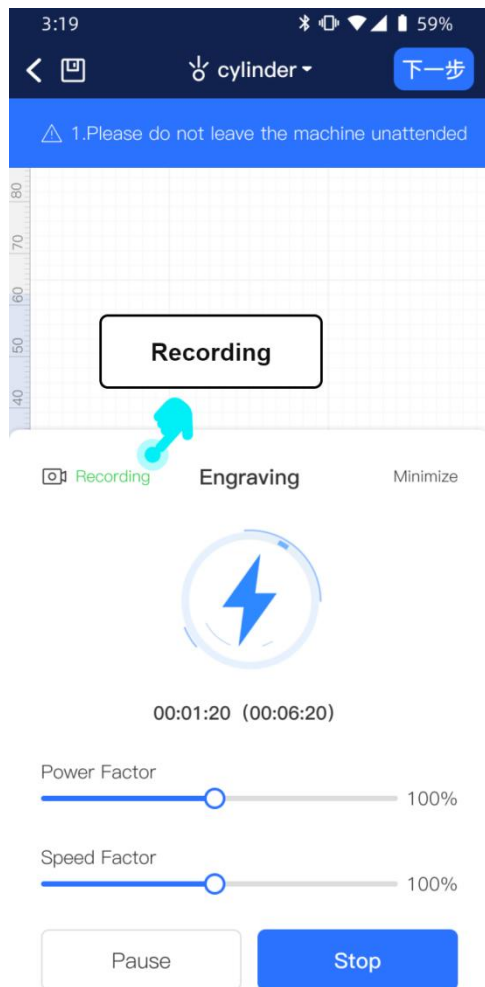


5) カメラホームページに加えて、彫刻制御インターフェースのインター

フェイス上部の「ビデオを録画する」をクリックして、彫刻プロセスを録画する必要があるカメラを選択することもできます。

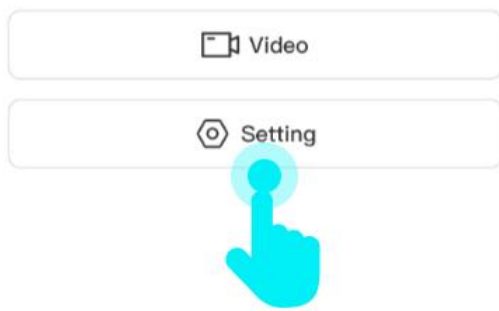
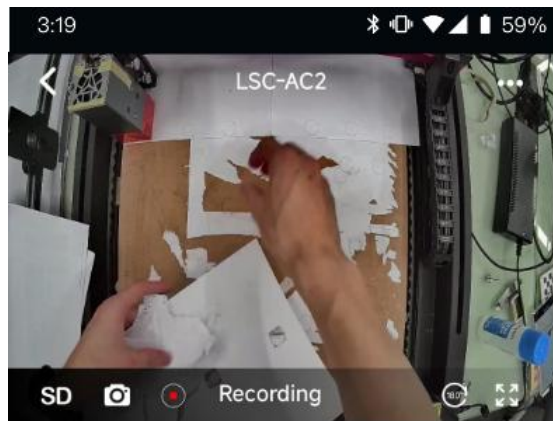


6) カメラを選択した後、彫刻作業を開始します。カメラは、彫刻が終了するまでの彫刻のプロセス全体を自動的に記録します。

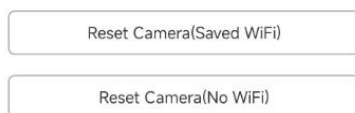
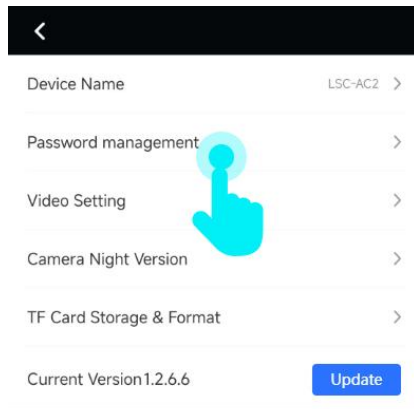


12. カメラのパスワードを変更する

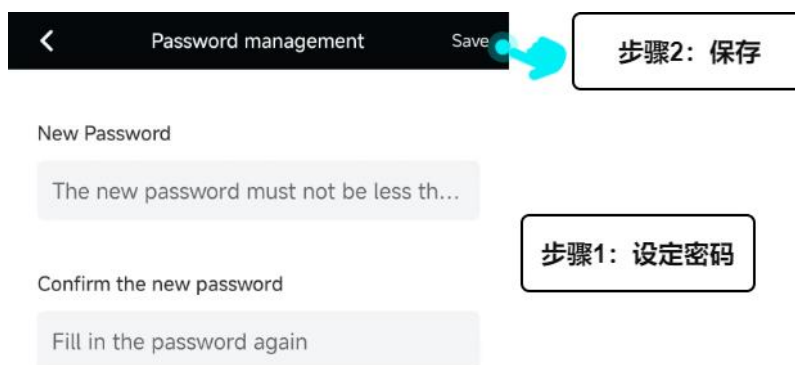
1) カメラのパスワードを変更する必要がある場合は、カメラのホームページの「設定」ボタンをクリックできます。



2) 設定インターフェースで、「パスワード管理」ボタンをクリックします。



3) パスワード管理インターフェースで、最初に新しいカメラパスワードを設定し、「保存」ボタンをクリックしてカメラパスワードを保存します。



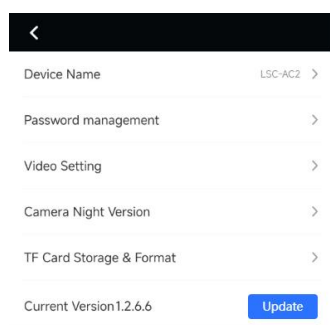
13. カメラをリセットする

カメラ設定インターフェースで「カメラをリセット(WiFi を維持)」または

「カメラをリセット(WiFi を削除)」を選択してカメラをリセットできます。

- カメラをリセット(WiFi を維持): これにより、WiFi 構成データを維持しながらカメラをリセットします。カメラが再起動した後、電話はカメラに接続されたままになり、すべてのカメラパラメータはデフォルト値に復元されます。

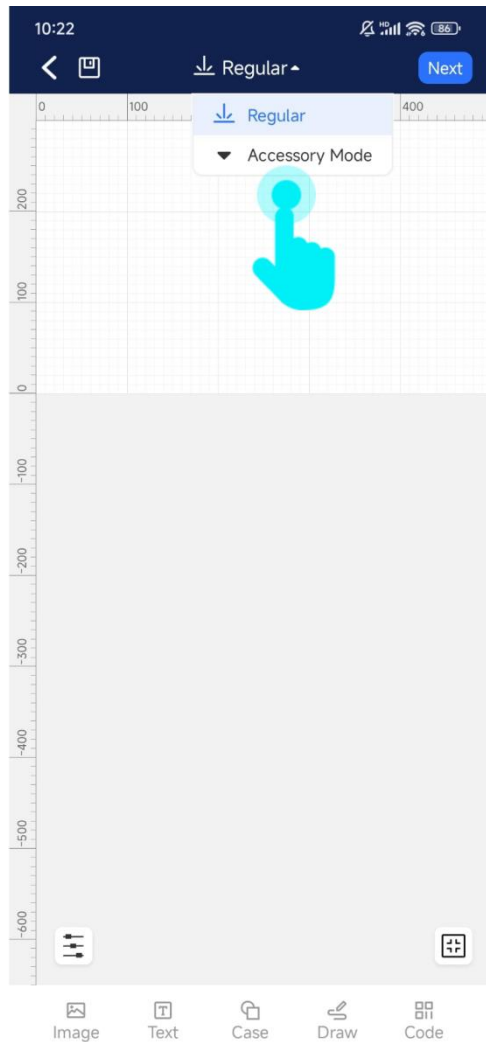
- カメラをリセット(WiFi を削除): これによりカメラがリセットされ、WiFi 構成データが削除されます。カメラが再起動した後、電話はカメラをもう一度追加する必要があり、すべてのカメラパラメータがデフォルト値に復元されます。



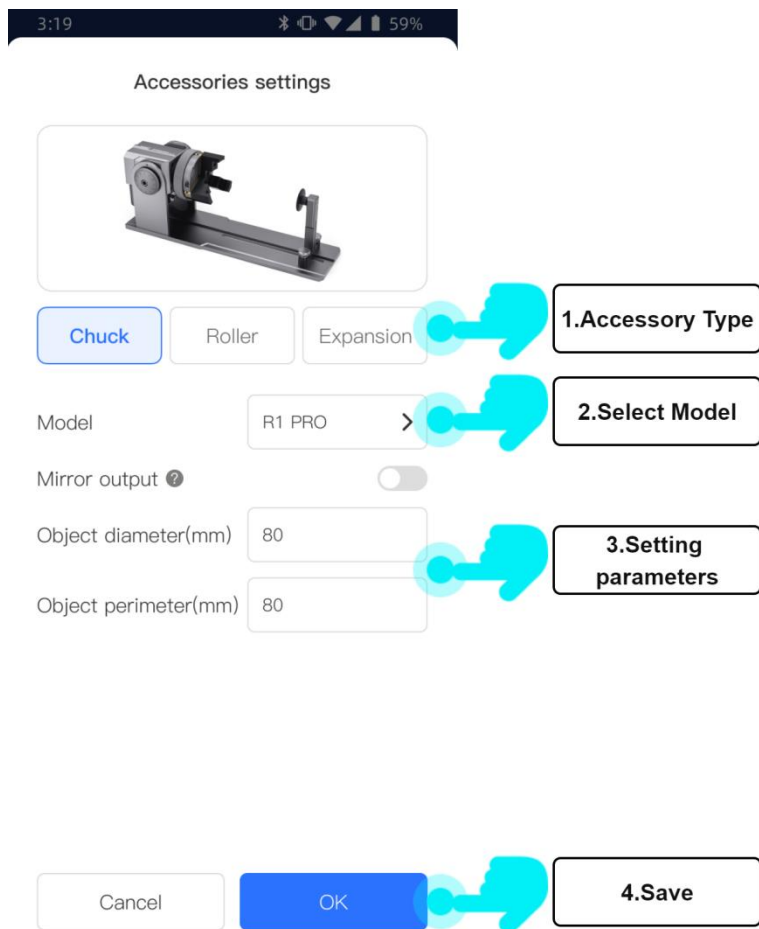
14. 部品交換

1) デバイスを接続した後、作成インターフェースの上部にあるアクセサリモードを切り替えることができます。デバイスがアクセサリの自動認識をサ

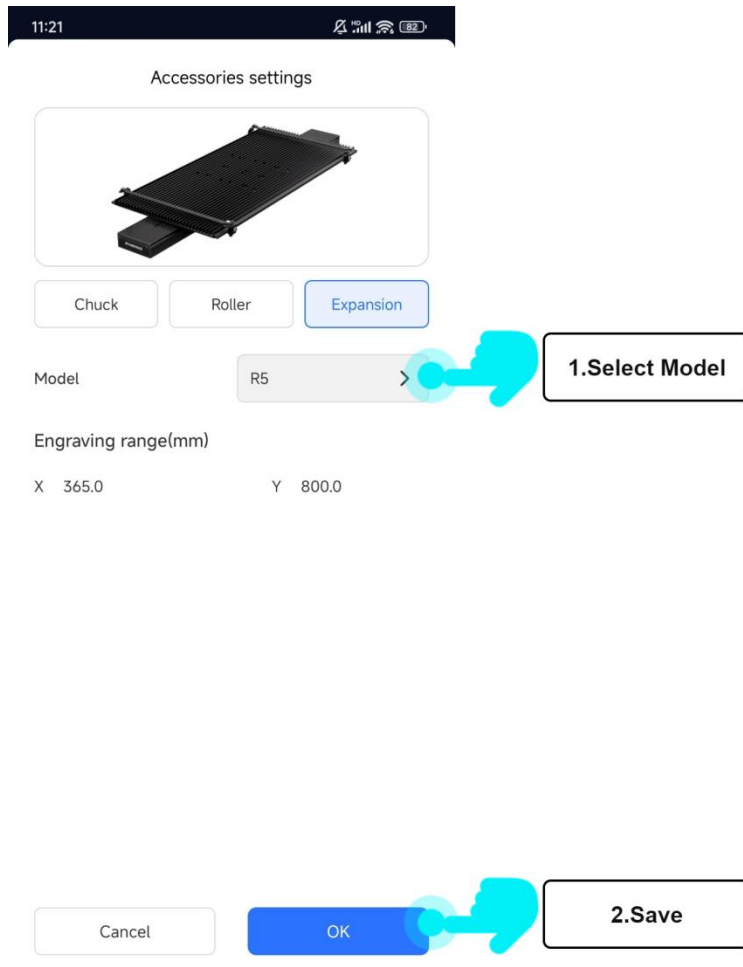
ポートしている場合、手動で切り替えることなく、接続後にアクセサリが自動的に構成されます。



2) 「標準」、「シリンダー」、「拡張」の3つのモードを切り替えることができます。チャックまたはローラーを使用する場合は、まずアクセサリーのモデル番号を選択し、インターフェイスのプロンプトに従って対応するパラメータを設定し、最後に「OK」をクリックして設定を完了します。



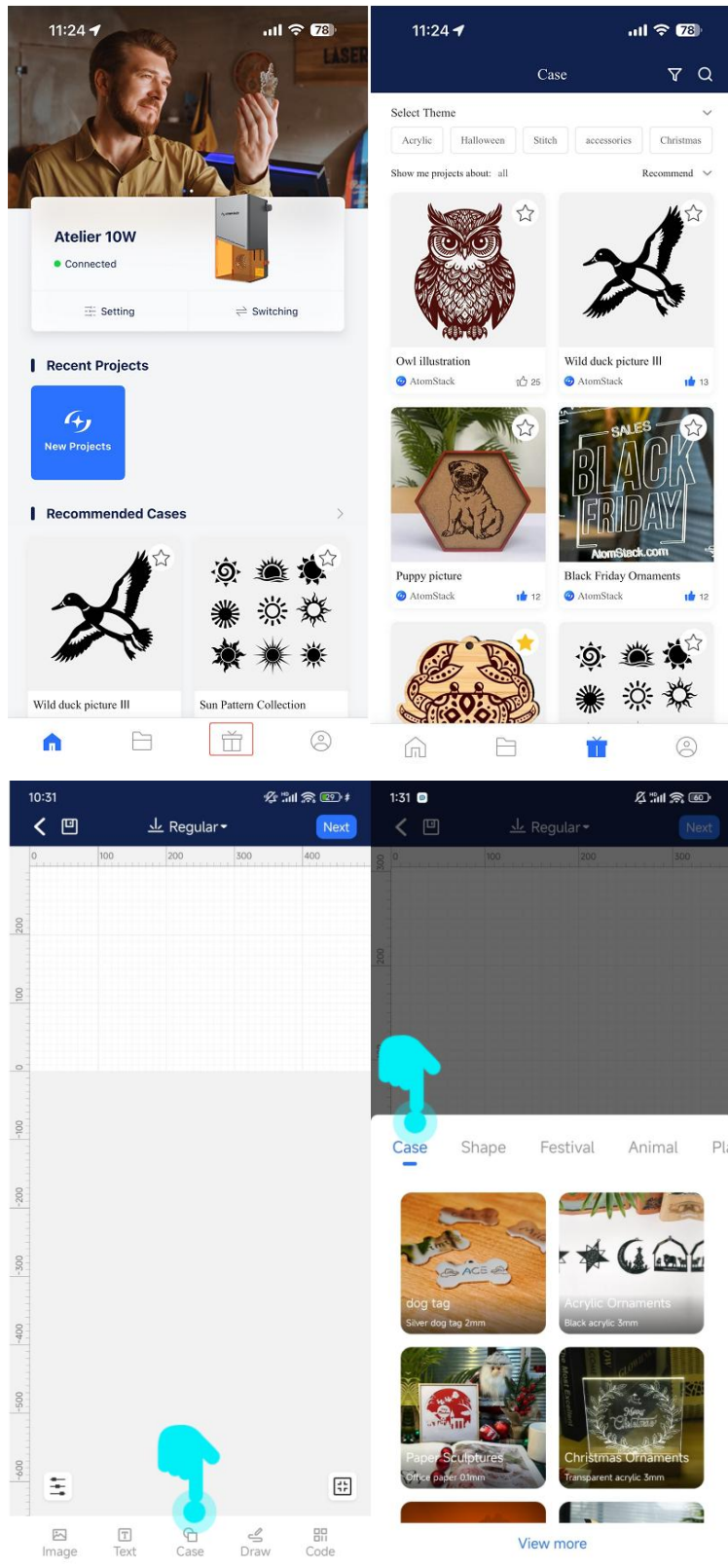
3) 増幅モードを使用する場合は、まずモデルを選択してから「OK」をクリックして設定を完了する必要があります。



15. 事例使用

1) アプリのホームページの下部にある「ケース」ボタンをクリックして、ケースを読むかユースケースを使用できます。

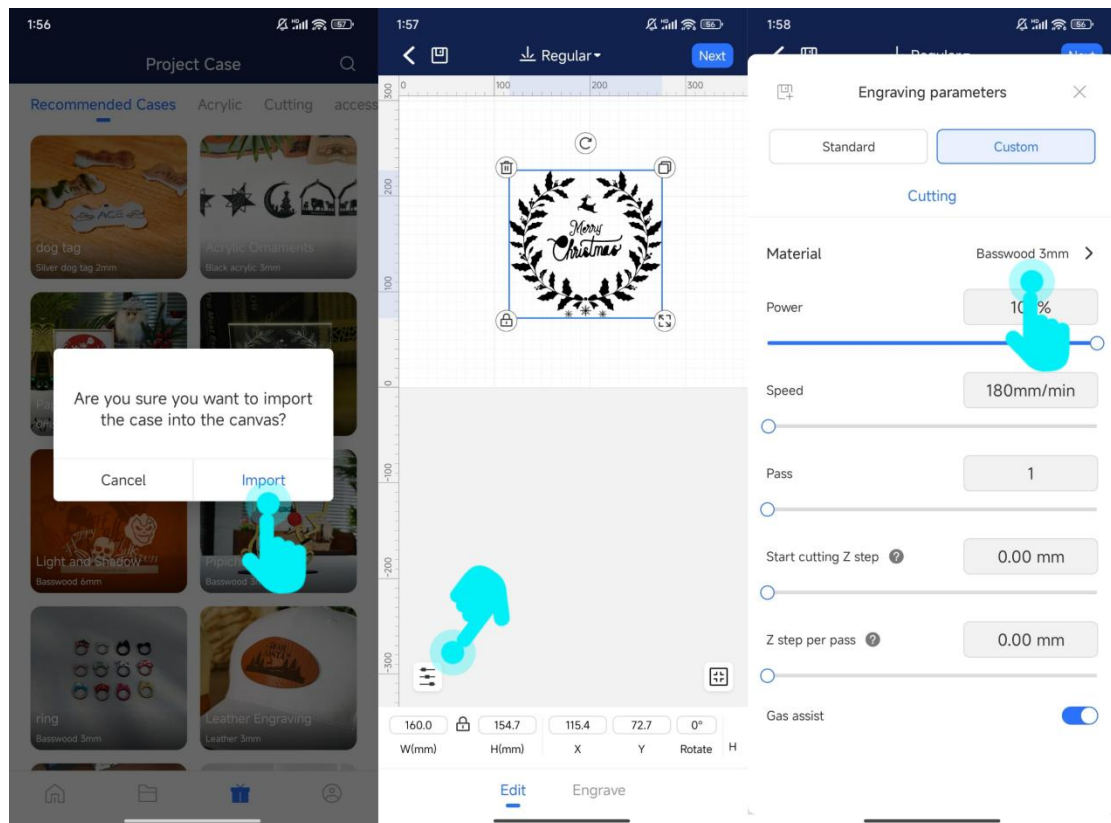
下部の「ケース」ボタンをクリックして、作成プロセス中にケースをインポートすることもできます。



2) ケースを選択した後、ケースパターンをキャンバスにインポートできます。デバイスが正常に接続され、この場合に使用されている材料をサポート

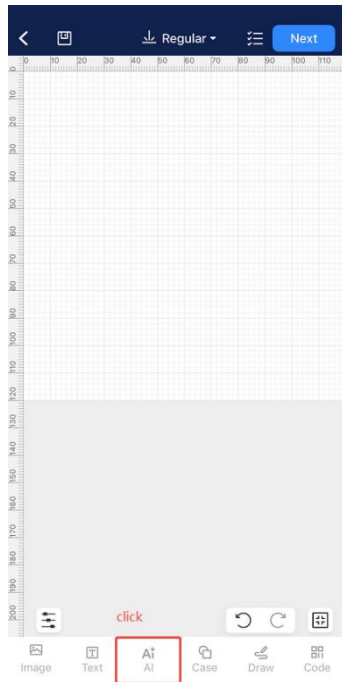
している場合、システムはその材料の彫刻パラメータを自動的に設定します。

キャンバスの左下隅にあるパラメータ設定ボタンをクリックして、自分で彫刻パラメータをカスタマイズすることもできます。



16. AI が画像を生成する

プロジェクト編集ページに移動し、画像関数を生成するテキストを見つけ、クリックして入力できます。



「テキストからイメージへ」ページでは、次の情報を設定できます：

- プロンプト：画像がどのように見えるかを AI に説明します
- イメージスタイル：生成するイメージのスタイルを指定
- 画像比率：生成する画像の比率を設定する
- 画像数：生成する画像数を決定します
- 参照画像のアップロード：参照用画像のアップロード

AI (Beta)

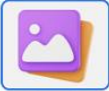
AI-Generated Content

History

Prompt

Please describe your image, for example: "A lion playing basketball."

Style



No style



Logo



Relief



Paper Cutting



Pixel



Cartoon



Neon Punk



Fantasy Art

Upload reference image (optional)

 Click to upload image
Support .jpg/.png

Image aspect ratio

□ 1:1

^

Image count

-

1

+

Generate

1